

花の雨	花冷えの家居の兄の何もせず 花の雨家居の兄の何もせず 花の雨甲斐甲斐しきは妹さくら	2021. 4.14	花	黒雲に雲間ありける桜かな 黒雲の割れて日の差す桜かな 咲き満ちて降臨を待つ桜かな	2021. 4.10
燕	点Pとなつて虚空へ揚雲雀 点Pとなつて自在につばくらめ 点Pは池の廻りをつばくらめ	2021. 1.31		洛外に雷雲を呼ぶ桜かな 洛外に雷雲を呼ぶ夜の桜 雷雲を呼び覚ましたる夜の桜 雷雲の近づいて来し夜の桜	2021. 4.13 2021. 4.18
	白黒にピアノは奏で燕飛び 白黒の鍵盤の音つばくらめ 白鍵と黒鍵並ぶ燕 白鍵の間の黒鍵燕 白鍵の間の黒鍵つばくらめ 白鍵が挟む黒鍵つばくらめ 白鍵の空きに黒鍵つばくらめ 白鍵の間に黒鍵つばくらめ 白鍵の挟む黒鍵つばくらめ 黒鍵を挟む白鍵つばくらめ	2021. 4. 7 2021. 4. 8 2021. 4.13 2021. 4.16 2021. 4.18		花満ちて雷雲を呼ぶゆふべかな 花満ちて雷雲来るゆふべかな 花満ちて雷雲きたるゆふべかな 満開の花に雷雲来りけり 満開の花に雷様も来て 満開の花に雷神来りけり 誘はれて雷様の花見かな 賑やかに雷様の花見かな 花の宴雷様も誘はれて	2021. 4.20 2021. 4.21 2021. 4.22
蒲公英	レールから三尺離れ蒲公英黄 線路から三尺離れ蒲公英黄	2021. 5. 6 2021. 5.16	花吹雪	太陽の彼方に永遠の花吹雪 太陽の彼方へ永遠の花吹雪 この世からあの世へ吹雪く桜かな	2021. 4.11 2021. 4.12 2021. 4.12
桜	雲ありて雲間ありける桜かな 文法に例外のある桜かな 雲ありて雲間のありて桜かな 文法に不規則のある桜かな 文法に不規則動詞桜かな 文法に不規則動詞桜咲く 悩ましき不規則動詞桜咲く 雲あれど雲間ありける桜かな 濃き雲に雲間ありける桜かな 規則動詞不規則動詞桜咲く	2021. 4. 8 2021. 4. 9 2021. 4.10			

暑し	天国に歩行者のゐる暑さかな	2021. 5.21	薄暑	明るくて薄暑の朝に体操す	2021. 5.22
	天国を歩行者あるく暑さかな	2021. 5.23		明るさの薄暑の朝に体操す	
	原色の夏に切り込む揚羽蝶 原色の夏に切り入る揚羽蝶 原色の氾濫したる暑さかな	2021. 5.27		明るさの薄暑の町に早起きす ラジオ体操薄暑の町の明るさよ 雀らと薄暑の町の明るさよ 雀らと薄暑の町の眩しさよ 薄暑とは明るい朝の雀かな 雀らも薄暑の町の明るさに	2021. 5.23
涼し	書取の枡に漢字や蚩籠	2019. 7.12		雀らに薄暑の町の明るさよ	
	書取の大きな枡の涼しけれ	2021. 5.25		雀らに薄暑の町の明るさよ 雀らに薄暑の町の明るけれ	
	書取の大きな枡目涼しけれ			雀らと薄暑の町を共有す	
	書取の大きな枡の涼しさよ			雀らに薄暑の町の親しさよ	
	かきとりの大きな枡の涼しさよ	2021. 5.26		雀らに薄暑の町の午前中	
	かきとり帳大きな枡の涼しさよ	2021. 5.28		雀らに薄暑の町の午前過ぐ	
	かきとり帳おほきな枡の涼しさよ			雀らに薄暑の町の午前の日	2021. 5.24
	かきとり帖おほきな枡の涼しさよ	2021. 5.29		雀らと薄暑の町の午前中 雀ほか薄暑の町の朝のうち 雀ほか薄暑の町の朝を飛ぶ 雀ほか薄暑の町の朝の空	
	高さうで地味な和服の涼しさよ	2021. 5.20		雀らを薄暑の町に撒き散らし	2021. 5.25
				風もよし薄暑の雲も親子連れ	2021. 5.23
			上空に雲細長き薄暑かな 曇りにはあらねど雲の薄暑かな 曇りにはあらねど雲や薄暑光 曇りにもならぬ白雲薄暑光 曇りにとは違ふ白雲薄暑光 曇りとはならぬ白雲薄暑光	2021. 5.25 2021. 5.27	
			選り分けてシャツを捨てたる薄暑かな 捨てるべきシャツを選り分け薄暑かな 捨てるべきシャツを選びし薄暑かな 捨つるべきシャツを選ぶも薄暑かな 捨つるべきシャツの洗濯薄暑かな	2021. 5.27 2021. 5.28	
			みちのくの薄暑の町のベーカリー 朝方の薄暑の町のベーカリー 週末の薄暑の町のベーカリー 平日の薄暑の町のベーカリー 出来立てや薄暑の町のベーカリー 出来立ての薄暑の町のベーカリー	2021. 5.28	
			松あれば浜辺の如し薄暑光	2021. 5.28	

薄暑	生ごみの厨片付く薄暑かな ごみ出して厨片付く薄暑かな	2021. 5.28	蚊遣	幽霊のやうにゆらりと蚊火煙 幽霊のゆらり蚊遣の煙かな	2021. 5.23
雲の峰	画用紙を縦にして描く雲の峰 画用紙を縦置にして雲の峰 画用紙を縦長にして雲の峰 画用紙を三枚繋ぎ雲の峰 画用紙を三枚つなぎ雲の峰 画用紙を縦につなぎて雲の峰	2021. 5.23		幽霊のゆらりと蚊火の煙かな 蚊の怨みゆらりと蚊火の煙かな 蚊の怨み辛みと蚊火の煙かな 蚊火煙ゆらりとうらみつらみかな 蚊のうらみつらみにも見ゆ蚊火煙	2021. 5.24
梅雨	花の雨甲斐甲斐しきは妹よ 梅雨の夜の甲斐甲斐しきは妹よ	2021. 4.14		へとへと今日一日を蚊遣の火 へとへと今日一日を蚊火煙	2021. 5.23
	めそめそとあるのは我か梅雨空か めそめそとしている我も梅雨空も めそめそと垂れ込めてある梅雨の空 めそめそと垂れ込んである梅雨の空 めそめそと我に垂れ込む梅雨の空 めそめそと垂れ込む空や梅雨深し めそめそと悩みは尽きず梅雨深し めそめそと月の衰へ梅雨深し	2021. 5. 1 2021. 5. 7		アラジンの魔法の蚊遣煙たかり アラジンの魔法の蚊遣香といふ アラジンの魔法の蚊遣香煙る アラジンの魔法の蚊遣香煙た アラジンの魔法の蚊遣豚煙た アラジンの魔法の蚊遣豚けむた アラジンのこれは魔法の蚊遣豚	2021. 5.24 2021. 5.25
	雨の字の中の雨ふり梅雨深し 雨の字の中も雨ふる梅雨湿り 雨の字の中も土砂降り梅雨湿り 雨の字の中も土砂降り梅雨続く 雨の字の中も土砂降り梅雨つづく	2021. 5.15 2021. 5.16 2021. 5.23 2021. 5.24		紫の幽霊みゆる蚊火煙 紫の幽霊いづる蚊火煙 焼け焦げし昭和の畳蚊遣香	2021. 5.24 2021. 5.31
日盛	日盛りを生者ばかりが嘆くなり 日盛に生者来りて嘆くなり 日盛に生者集り嘆くなり	2021. 4.29 2021. 5. 6	金魚玉	時計屋に百の秒針金魚玉 時計屋に千の秒針金魚玉 秒針を商ふ店の金魚玉 秒針は働き盛り金魚玉 秒針はいつまで廻る金魚玉 秒針は廻りつばなし金魚玉 秒針の廻る文字盤金魚玉 時計屋の千の秒針金魚玉	2021. 5.18 2021. 5.19 2021. 5.23 2021. 5.25
夕焼	夕焼の色濃くなつて夕闇に ゆふやけの色こくなつてゆふやみに	2021. 5.16 2021. 5.27		時計屋の秒針動く金魚玉 時計屋の秒針あまた金魚玉	2021. 5.26
汗	軽く汗かくを忘れず健康に 先生の額の汗を見しことも 滑り台を汗ひくやうな滑り方 滑り台で汗ひくやうな滑り方	2021. 4.21 2021. 5.23 2021. 5.23	夜店	赤の他人青の他人や夜店の灯	2021. 5. 3
蚊帳	船のごと大きな蚊帳の恐ろしき 弟を泣かせて蚊帳を独り占め	2021. 5.21	冷蔵庫	冷蔵庫に閉ぢ込められてあるプリン 冷蔵庫にプリン閉ぢ込められてをる 冷蔵庫の奥深くあるプリンかな 冷蔵庫の奥にプリンを閉ぢ込めて	2021. 4.21 2021. 4.28 2021. 5.11
			鯉幟	風車からから見上げ鯉幟	2021. 5.22

シャワー	強き子はシャワーの水を跳ね返し	2021. 5.23	蝉	最後の一片零れて蝉の穴	2021. 5.11	
	泣き虫もシャワーの水を跳ね返し	2021. 5.24		蝉出でてこれが最後の土零る		
	弱虫もシャワーの水を跳ね返し			蝉出づる穴に最後の一片零れ		
	弱虫もシャワーの水を跳ね返す			蟻の巣に輪廻の一片蓄へて	2021. 5.20	
	弱虫はシャワーの水も恐れけり	2021. 5.25		蟻の巣に輪廻のかけら蓄へて		
泣虫はシャワーの水に泣き止まず		蟻の巣に輪廻の一片たくはへて				
	どろんこの泣虫洗ふシャワーかな		万緑	万緑を叩く雨粒潔し	2021. 5.27	
揚羽蝶	初蝶と夏は言はねど黒揚羽	2021. 5.23	葉桜	中古車は新車になれず花は葉に	2021. 5. 6	
	初蝶と言はぬでもなし黒揚羽			若葉	明け方の若葉の音と鳥の声	2021. 5.16
	黒揚羽にも初蝶と言ふべかり				若葉影乾き初めたる土の上	2021. 5.28
	黒揚羽こそ初蝶と言ふべかり			若葉影乾き初めたる土の色		
	初蝶と言はねど黒の揚羽蝶	2021. 5.24		鳥の声若葉の色も変りつつ	このごろの若葉の色と日の光	2021. 5.28
	初蝶と言ふにあらねど揚羽蝶					
	初蝶と言はねど黒の揚羽かな	2021. 5.25				
初蝶と言ふにあらねど黒揚羽	2021. 5.27					
蟻	蟻の巣に輪廻のかけら貯へて	2021. 5.20				
	さまよへる蟻に焼きつくアスファルト	2021. 5.23				
	働いて太ることなし蟻の列	2021. 5.27				
	角砂糖溶かすは蟻の唾液かな	2021. 5.27				
	公園に蟻の巣いくつ蟻いくつ	2021. 5.28				
	公園に蟻の巣あまた蟻あまた	2021. 5.29				
	引いてゆく蟻あり後を付けてみる	2021. 5.28				
啜へゆく蟻あり後を付けてみる						
金魚	時計屋の金魚真つ赤に育ちけり	2021. 5. 3				
	時計屋は時の集積金魚玉	2021. 5.16				
	時計屋に腕と壁あり金魚玉					
	壁面に時計あきなふ金魚玉					
	時計屋に数多の時計金魚玉					
	時計屋に数多の時間金魚玉					
時計屋に時がたつぷり金魚玉						
蝉の穴	蝉穴に零る最後の一片	2021. 5.11				
	蝉穴より零る最後の一片					
	蝉穴よりこぼる最後のひとかけら					
螢	冠に二つ火のある螢かな	2021. 5. 7				
	冠に二つ火点る螢かな					
	冠に二つ火点る螢の字					
	冠に二つ火の点く螢の字					

爽やか	爽やかに宇宙を廻る地球かな	2021. 3.30
夜長	静けさの排水口の夜長かな	2021. 5.27
	乾きつつ排水口の夜長かな	2021. 5.29
	乾きゆく排水口の夜長かな	2021. 5.30
秋彼岸	垂直に立てる線香墓参	2021. 4.17
	垂直に立てる線香秋彼岸	2021. 5.19
踊り	故郷の隣りの村の盆踊	2021. 5.30
豊年	デパートの地下も豊年満作で	2021. 4. 5
新豆腐	新豆腐賽の目に目のなけれども	2021. 5. 6